

回覧

住吉・和合地区社会福祉協議会

社協から生きるための講演会

<テーマ>

昆虫食がタンパク質危機を救う！？

～【とって食べる】からはじまる環境教育～

世界人口の増加で、タンパク質源の確保が課題となっている

2030年には、世界の人口は90億人になるといわれています。これほどの人口を支えるためには何億頭もの家畜の飼育が必要となりますが、このままではこれら動物性タンパク質の需要と供給が逆転すると予測されています。この事態を「タンパク質危機」と言い、現在世界中で問題視されています。代替食料として注目されている昆虫食は、タンパク質危機を救う救世主となり得るのか！？昆虫食倶楽部が取り組む【とって食べる】のイベント、外来種駆除活動、ガチ！生物多様性塾などの取り組みを通して、食べること、生きること、そして環境教育についてみなさんと一緒に考えたいと思います。

◇ 開催日

令和5年11月25日(土)

◇ 会場

高台協働センター(1Fホール)

◇ 時間

13:30～15:00

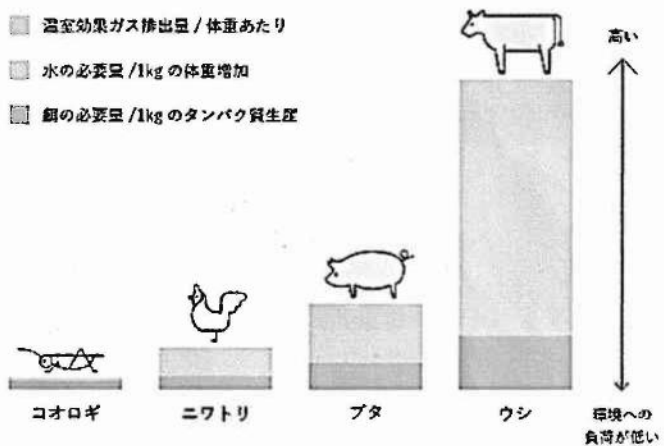
◇ 参加

無 料

■ 温室効果ガス排出量 / 体重あたり

■ 水の必要量 / 1kgの体重増加

■ 餌の必要量 / 1kgのタンパク質生産



引用元: 温室効果ガス: Oninck et al., 2010. 水の量: Pimentel et al., 2004. 餌の量: van Huls, 2013.

<講師のプロフィール>

昆虫食倶楽部 代表 夏目 恵介

- ・住吉在住
- ・㈱丸一夏目商店 代表取締役
- ・令和2年度 住吉子ども育成会 会長
- ・NPO法人浜松男女共同参画推進協会 副理事長



【連絡事項】

コロナ感染症がご心配の方は、マスクの着用をお願いします。

問い合わせ先＝川嶋正幸 090-9198-6601

興味津々 セミチャールン

「昆虫食」が注目を集める中、その中でも「とって食べる」が注目を集めています。昆虫食は、タンパク質源の確保に貢献するだけでなく、環境負荷の低減にも貢献します。昆虫食倶楽部では、昆虫食の魅力を伝えるために、様々なイベントを開催しています。今回は、昆虫食の魅力を伝えるために、昆虫食体験会を開催しました。昆虫食は、タンパク質源の確保に貢献するだけでなく、環境負荷の低減にも貢献します。昆虫食倶楽部では、昆虫食の魅力を伝えるために、様々なイベントを開催しています。今回は、昆虫食の魅力を伝えるために、昆虫食体験会を開催しました。

メニュー2種「軟らかくておいしい」

「昆虫食」が注目を集める中、その中でも「とって食べる」が注目を集めています。昆虫食は、タンパク質源の確保に貢献するだけでなく、環境負荷の低減にも貢献します。昆虫食倶楽部では、昆虫食の魅力を伝えるために、様々なイベントを開催しています。今回は、昆虫食の魅力を伝えるために、昆虫食体験会を開催しました。